

---

# 友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ  
津山洋学資料館友の会

2019 January No.2

---



第 31 回史跡見学会（2ページに関連記事）

## CONTENTS

---

第 31 回史跡見学会報告	
秋の史跡見学会に参加して	2
旧館が9年ぶりに再活用	3
植栽ボランティア活動 実施	
葉草の小径から ②	
職員紹介	4
トピックス	
編集後記	

秋の史跡見学会に参加して

岸本博之

大篠の地を訪れたのは20数年前のことです。山登りに来て天台宗龍頭山善應寺にお参りし、地区の方から美しく紅葉したモミジのお話を拝聴したことが思い出されます。

鐘楼まで上がっていると、岸田吟香が開いた私塾が、弘化4年(1847)から嘉永5年(1852)までの間、ここに存在したという解説板があり、とても驚きました。大篠地区の誰と面識があつたのかと、それからずつと吟香のことが頭を離れません。

ご住職のご母堂から色々とお話を伺いましたが、津山百景にも選ばれている樹齢200年の「傘大モミジ」が樹木医によって管理されていると安心してました。



善應寺



安黒家墓所



米井源治郎生家

お寺からほど近い場所に、大庄屋安黒家の屋敷跡があり、その見事な石垣から往時の繁栄ぶりを偲ぶことができました。敷地に沿って排水溝も施されているように感じられました。

そこからさらに登っていくと、私は今まで一度も見たことがない、ドンブリ鉢を伏せ表面を切り石で円形に固めただけに見える、およそ10基の墳墓が並んで見えました。これが安黒家の墓地ということでした。初代のお墓の脇に「安黒和泉守久重之墓・天正六年」と記されていました。天正6年といえば安土・桃山時代で、西暦1578年ですから、今から440年前です。安黒家は大篠の地に誕生した旧家だといえます。

次の見学は、下高倉の生んだ実業家で、キリンビール創業者の一人である米井源治郎生家でした。ご当主の米井澄近さんとご親戚の

米井郁人さんが源治郎に関する資料を並べて待っていてくださり、お二人で米井家や源治郎について詳しくご説明くださいました。

実は、私の近所に米井家と縁組されている方が住んでおられながらご先祖の輝かしい業績など一切口にされたこともなく生きていました。

これからは色々お尋ねしたいと思いましたが、さて、見学会の楽しみの一つである昼食は美作の丘です。ここにある大きな風車は、建設時に洋学資料館が設計図をオランダ総領事館から取り寄せたことを初めて知りました。

また、帰路サプライズで案内いただいたのが、高野山西の高橋家墓所でした。箕作阮甫の母清子の実妹ウタが嫁いでいたのが高橋家。阮甫が幼少期に叔母を訪ね、「大根飯やよもぎ餅などをごちそうしてもらった」というエピソードに思いをはせ、墓前に参拝して、充実した見学会を無事に終えることができました。

見学コース

- ①岸田吟香が私塾を開いた善應寺(大篠)⇒
- ②大庄屋を勤めた安黒家墓所・屋敷跡(同)⇒
- ③明治屋2代目社長・麒麟麦酒創業者 米井源治郎生家(下高倉東)⇒
- 屋敷 美作の丘(高野本郷)⇒
- ④箕作阮甫叔母 高橋ウタ墓所(高野山西)



ポート アート&デザイン津山  
 入館無料 火曜日休館  
 〒708-0841 津山市川崎 823  
 TEL:0868-20-1682 FAX:0868-20-1683  
 www.port-tsuyama.com

昭和53年に洋学資料館が開館し、平成21年に新館移転のため休館するまで、31年間の歴史を刻んできた旧洋学資料館の建物が、この度、アートギャラリー「PORT ART&DESIGN TSUYAMA (ポートアート&デザイン津山)」としてリニューアルオープンしました！

## 旧館が9年ぶりに再活用

旧館の建物は、もともと1920(大正9)年に、妹尾銀行林田支店として建てられたものです。その後幾多の変遷を経て中国銀行津山東支店となり、昭和48年の支店移転に際して、建物が津山市に寄贈されました。旧館時代からご存知の方は、重厚な神社仏閣風の外観や、樺

の一枚板のカウンター、吉野杉の格天井など、贅を凝らした建物を懐かしく思い出されることと思います。

この建物は平成4年に津山市の重要文化財(建築物)に指定されていきましたので、資料館が新館へ移転した後もそのままの形で残され、利用の方法が検討されていきました。

今後は、指定管理者となったEKG合同会社によって、作家の作品展や市民ギャラリー、ワークショップ、アートイベントなどが開かれるそうです。

皆さんも魅力的なアートの触れてみませんか。

## 植栽ボランティア活動実施

11月10日(土)、通信創刊号での呼びかけに応じて集まってくださった方々で、薬草の小径と中庭の植付けや草取り、剪定を行いました。ご協力ありがとうございました！



作業を終えて中庭で休憩♪

## 薬草の小径から

### ヤマボウシ

ミズキ科ミズキ属  
 落葉高木



初夏に白い花が咲き、実は果実酒などに用いられます。本州・四国・九州、朝鮮、中国などに分布し、シーボルトは『日本植物誌』で、ヤマボウシについて、宇田川榕菴の考察を引用しながら紹介しています。

2

## 職員紹介

各種行事でお会いすることの多い資料館の職員さん。4月から新しく資料館へ着任したお二人に、改めてこれからの抱負をうかがいました。



近都兼司学芸員と仁木康治館長

**(仁木館長)** 大倉前館長の後任として4月から館長として着任いたしました仁木と申します。

これまで、弥生の里文化財センターで埋蔵文化財を主とした文化財保護業務に従事しておりました。新任館長として友の会の皆様にはあたたかく迎えていただき、現在に至

っております。  
『洋学』に関しては素人ですが、マネジメント的なことも含め、現在捻り鉢巻きで勉強しているところです。諸事不慣れでいろいろとご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**(近都学芸員)** 4月から学芸員として新採用されました近都と申します。着任後、友の会の皆様から心温まる歓迎の言葉をいただき、身の引き締まる思いです。その期待に少しでも応えられるよう必死に勉強しています。気がつくとも一日が終わっているような充実した毎日です。

日本近代化の礎を築いた宇田川家・箕作家ゆかりの、この津山の地で、洋学史に向き合えることを嬉しく思います。資料館に着任できたご縁で、友の会の皆様や諸先輩方に囲まれ、手厚いご指導を仰げていることに感謝しています。勉強中の身ではありますが、津山洋学資料館の運営に邁進していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## トピックス

### 箕作麟祥の歴史書 翻刻

箕作阮甫の初孫で、明治政府のもと、法律の制定に尽力した箕作麟祥。実は法律以外の分野でもたくさんの本を刊行しています。その一つが世界の歴史をまとめた『萬國新史』です。

この度、この『萬國新史』が全文翻刻されて刊行されました。翻刻されたのは、友の会会員でもある南塚信吾さん(世界史研究所)。語句の解説も充実して分かりやすい内容です。友の会でも委託販売していますので、お問い合わせください。



箕作麟祥纂輯『萬國新史』  
翻刻・編集/世界史研究所  
発行/NPO歴史文化交流フォーラム付属  
世界史研究所  
価格/4,320円(税込)

### 資料館 細見 ヒンデローベンにガイコツ?!



展示室を飾るオランダの伝統工芸ヒンデローベン。その中にこっそり“ガイコツ”が隠れているのをご存知でしょうか。医学関係の展示物の多い資料館のため、作家の永江絹子先生が特別に描いてくださったものです。

### 編集後記

「友の会通信 第2号」をお届けします。昨秋の史跡見学会では、津山市内のキリンビール創業者の一人である米井源治郎の生家を中心として、近くの善應寺、大庄屋を勤めた安黒家の墓所・屋敷跡を訪れ、箕作阮甫の叔母高橋ウタの墓所にお参りしました。郷土出身の先人の業績を学ぶことができました。

友の会が主催する研修バス旅行や史跡見学会は、ただの観光ではなく、知識を深め教養の向上を図る有意義な旅行です。皆さま知人を誘って一人でも同好の会員を増やし、ふるってご参加ください。

(A)

津山洋学資料館友の会通信  
第2号

平成31年1月  
編集・発行

津山洋学資料館友の会

事務局 〒708-0833

津山市西新町5

津山洋学資料館内

☎0868-23-3324